

町会だより

NO. 18

平成 26 年 8 月 1 日
小金原九丁目町会

(題字 椎名純子さん)

ふるさとづくり 夏まつりにむけて

九丁目町会 会長 高松秀夫

盛夏お見舞い申し上げます。
厳しい暑さが続きますが、熱中症にお気をつけてお過ごしくださいますよう。

きびしい暑さとともに町会の夏まつりが近づいてまいりました。今年は、子どもたちの太鼓の発表の舞台として、これまでのやぐらにかわり、新たにステージを、「自前」で組上げようと取組んでいます。この取組を発案し、担っているのは、「青年部」です。

町会発足四十年を過ぎ、近年は若い世代も住まわれ、ことに子どもたちの姿が増えています。世代をつなぎ、こうした人たちとの交流も含めたネットワークづくりを課題に、町会組織をサポートする「若者の自主的な集まり」として発足しました。十数人メンバーのなかには、この地で育った栗中卒業生も数人います。

貴重な休日割いて、廃棄資材をさがしたり、電気配線の設計など、その持てる力を注いでい姿には頭が下がります。

主役の子どもの太鼓も、練習の回を重ね力をつけています。リズムに乗った音は、ずっしり響き感動を覚えます。小高師匠(福寿台町会)もその上達ぶりに驚き、喜んでいただいています。子供たちにひかれ成人のメンバーも腕を上げています。

思い返しますと、田舎でのお寺や神社の祭りや講のときの体験や語り合の記憶がよみがえり、いまよみがえり支えられていることに気付きます。こうした形のない記憶(思い出)の重なりが「ふるさと」なのかもしれません。

開催間近になり、栗中吹奏楽部の出演が決まりました。町会からのよびかけに「地域交流に、ぜひ」と前向きです。

三世代の老若男女がつどい、結びあう。願いはふるさとづくりです

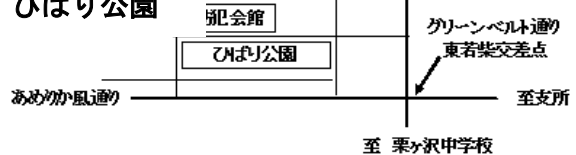
9日(土)、10日(日)はお誘いあわせのうえひばり公園へお集まりください。

夏まつり 8月9日(土)・10日(日)

子どもみこし	午後4時
ラムネの早飲み大会	5時
栗中吹奏楽部演奏	5時30分
太鼓演奏	
(Wa 太鼓 9)	6時
太鼓演舞	
(福寿台太鼓)	6時30分
踊り開始	7時
	(8時30分まで)
※「チラシ」と一部変更がありました	



会場: ひばり公園



◎ご寄贈いただきました。ご支援に感謝し御礼申し上げます。

太鼓	3台	旭神経内科リハビリテーション病院	様
	1台	木原 良克	様
	//	小暮 功	様
	//	小暮 義雄	様 (順不同)
提灯		賛同者商店・企業様	計43社 寄付提灯数 計83張
		名入り提灯として、会場を照らします。	

いよいよ初舞台、「Wa太鼓9」 練習の様子 (7/26 町会会館)

太鼓の音がズシンと響き、練習開始の頃の音とちがうのが素人にもわかるように。「すごい男の唄」や「きよしのズンドコ節」もマスター、パチさばきも堂にいつてきました。町会の夏まつりのつぎは、福祉フェアにとのプランも出始めています。



小高師匠 (福寿台町会)

礼儀や太鼓の基本に厳しく指導いただいています。メンバーの上達ぶりをいちばん喜んでいただいている様子。福寿台町会の太鼓メンバーの方々もともに、お世話になっています。

小学校2年生です。

全身を使ったしなやかなパチさばきが見事です。おとうさんも「成人の部のメンバーです。」





ラジオ体操の輪 (はくちょう公園 7/23)

この日は子どもたち66名。日を追って参加者は増えているとのこと。緑陰では、近隣の方々の朝の語らいが。 奥さん(12B)、砂田さん(9C)のリードのもと、8月末まで毎日行われます。(日曜日は休み)

振り込め詐欺に注意しましょう

最近、特に振り込め詐欺による被害が多く発生しており、松戸東警察署管内でも被害にあっている方が出ていますのでお知らせします。(下記データは今年1~6月の被害状況です)

発生件数	東警察署管内：18件	9丁目：0	小金原地区：3件
被害総額	：1億1千万円	：0	：3百万円

<被害者は、全体の9割は高齢者、約7割は女性です>

- こんな電話は振り込め詐欺です。<高齢者の安全安心ガイドブックより>
「カバンをなくした」「すぐにお金が必要!」「会社の同僚が取りに行く」
「振り込んで」「カードを預かる」「暗証番号を教えて」
「税金が還付される。ATMで」
「保証金を振り込んで…」(融資の勧誘は要注意)

不審な電話や手紙が来たら警察に相談しましょう!

振り込め詐欺相談専用ダイヤル 0120-494-506

- 悪質商法にも注意を
- 電話を受けたとき、電話機の表示板に「ヒツウチ」が表示されたときは注意を!
相手は自分の電話番号を知らせない方法で、電話をかけています。

◎しつこい電話、嫌がらせ電話等迷惑電話を防止する方法もあります。
NTTにご相談を!

参考情報：町会では、30本近くの防犯のぼり旗を設置しましたが、設置後は家宅侵入の被害届出は無いようです。引き続き、自分達の街は、自分達の手で守るよう、監視し続けるが必要との事です。犯人は人目を気にしています。

◎軒下回収の回収量増加！ 引き続き、ご協力をお願いします

4月～6月の軒下回収の回収量を調べましたところ、昨年と比べ増加していることがわかりました。(下表参照) 町会からの「お願い」に応じていただいた結果かと思えます。このリサイクル資金は、町会の貴重な財源で、今年度は防災関係の資器材の緊急整備の資金として予算化しています。

◀軒下回収(リサイクル)回収量▶

	4月	5月	6月	計
H25年	8,540Kg	4,770Kg	8,880Kg	22,129Kg
H26年	7,120	8,530	11,590	27,240
増減	-17%	+79%	+30%	+23%

◎今年度の防災訓練について

1) 松戸市の防災訓練計画に沿った、市内小中学校での一斉防災訓練

松戸市は、今年度より市内の全小中学校にて防災訓練を行なう(今年は11月9日)事としています。これを受け、貝小と栗小は栗防委員会(会長:小林俊夫氏)参加の下で、前年度実施した栗中での収容避難所開設運営訓練を参考に計画案を作成しております。この収容避難所の開設に当たっては、地域町会の参加が不可欠との事で、訓練時の収容避難所運営を担当する町会の割り当てがなされておりますのでお知らせします。(栗防委員会資料より)

貝小担当町会: 9丁目、8丁目、5丁目、分譲住宅、(6-7)

栗小 // : 7丁目、小松園、6丁目

(栗中は、昨年実施済との事で実施せず)

詳細が決まり次第、改めて連絡しますので、ご協力をお願いします。

2) 小金原地区自主防災訓練は、9月7日(日)です

例年どおり小金原運動場で行なわれますが、内容等は追ってチラシでお知らせします。

3) 9丁目としての自主防災訓練等について 夏祭りが終わりましたら、検討する予定です。

命の時間

人の命には限りがあります。その命は時間によって刻々とその時を迎えるために進んでいきます。

その意味では、限られた時間をどう使うかが大切になります。自分のために使うのか、人のために使うのか。この質と量によって生き方が変わってくるように思えます。話を聴いている時は話せませんし、話している時は聴けません。これが話し合いです。そこにはルールがあって、相手の話を決めつけてよく聴いていないことが露呈する場合があります。これはマナーが悪いのではなく、ルール違反なのです。

逆に話す方は、相手に伝わるように時間に配慮して話す心配りが問われるのです。よく自分はどう思う!と主張される方がいますが、自制ができずに配慮に欠けた発言は、いかにその主張が正しくとも傲慢と受け取られてしまいかねないのです。話すからには、限られた人の命の時間を頂いていると受け止めることが大切なのではないのでしょうか。

ですから、話下手と言って誤魔化すのではなく、時間に配慮して実りある対話ができる人格を私どもは日々鍛錬しておかねばならないのです。そ

大久保 俊輝(12・A)

うでないと災害時にはこの傾向がさらにヒートアップして冷静な判断を狂わせ人命を失うことにもなりかねないのです。私の恩師から「平時に非常時を想定し、非常時には平時の心を失わないうことが大切だよ」と教えて頂きました。

さて、学校では、高学年が国会議事堂の見学に行き、合議制の素晴らしさ学びます。恥ずかしながら、国会中継でよく見受けられる議員の居眠り、暴言などを見ると、子ども達の話し合いの方が数段上の建設的な話し合いに感じる時があります。

私ども大人は、自分の知識や思い込みを相手に押し付ける傲慢性や独善性が強くなるため、よほど自重しないと直らないのです。そうでないと有望な後継者を失ってしまいます。未来を担う子ども達や若者達に希望の道を示すためにも、あなりたい!という範を示すことが、何時も問われているのではないのでしょうか。

御家庭や地域での大人の話し合いは、子どもに見せても恥ずかしくないものとなるよう努めねばならないのです。

自戒。